

青 消 号 外
令和 7 年 1 0 月 3 0 日

報 道 機 関 各 位

青森県危機管理局消防保安課長
(公 印 省 略)

令和 7 年度「青森県防火の集い」六ヶ所大会の開催について

このことについて、別添のとおり開催しますので、取材についてよろしくお願いします。

記

- 1 日時 令和 7 年 1 1 月 7 日 (金) 1 3 時 0 0 分～
- 2 場所 六ヶ所村文化交流プラザスワニー 大ホール (六ヶ所村大字尾駸字野附 1-8)
- 3 内容 別添プログラムのとおり

報道機関用提供資料	
担当課 担当者	危機管理局消防保安課 消防・予防グループ 副参事 屋崎 雪絵
電話番号	直通：0 1 7 - 7 3 4 - 9 0 8 7
	内線：4 1 3 1
報道監	危機管理局 次長 佐藤広之

住宅用火災警報器の設置・点検をしましょう！

住宅用火災警報器は住宅等への設置が義務化されてから10年以上が経過しました。
火災の早期発見、早期避難により命が助かった事例が数多くあります。

- 設置していないお宅は早めの設置をお願いします。
- 設置済みのお宅は定期的に点検をしましょう。

- ・「寝室」に設置することが条例で義務付けられています。
(2階に寝室がある場合は階段の上にも必要です。)
- ・火を使う台所への設置も心がけましょう。
- ・住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や
電池切れなどがあることから、10年を目安に交換しましょう。

※消防署では住宅用火災警報器は販売していません。
(一社)青森県消防設備保守協会会員企業やお近くの
ホームセンターなどにお問い合わせください。



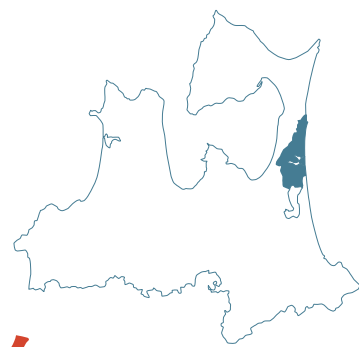
青森県消防設備保守協会 検索



防火宣言

- 自分の家庭からは、絶対に火事を出さないように努めます。
- 住宅用火災警報器の設置促進を図り、安全・安心な地域づくりに努めます。
- 身体の不自由な人やお年寄り、子供たちを火災から守ります。
- クラブ活動の輪を広げ、防火の仲間を増やします。

令和7年度 青森県防火の集い 六ヶ所大会



令和7年11月7日(金)13:00～

六ヶ所村文化交流プラザスワニー大ホール 六ヶ所村大字尾駸字野附1-8

お楽しみ抽選番号

主催：青森県／青森県幼年女性防火委員会／北部上北広域事務組合幼年女性防火委員会
共催：一般社団法人青森県消防設備保守協会／一般財団法人日本防火・防災協会／公益財団法人青森県消防協会
後援：六ヶ所村／北部上北広域事務組合消防本部

Photo「高瀬川のマテ小屋」

急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

2025年度 全国統一防火標語

はじめに

「青森県防火の集い」は、今年度の六ヶ所大会で33回目の開催を迎える運びとなりました。これもひとえに皆様の多大なる御支援、御協力によるものと深く感謝申し上げます。

さて、令和6年における全国の住宅火災による犠牲者数は970人にのぼっており、多くの尊い命が失われています(放火自殺者を除く)。

本県における令和6年中の火災発生件数は558件、出火率(人口1万人当たりの出火件数)は4.63、火災による死者数は28人、死者発生率(人口10万人当たりの死者数)は2.32となっており、このうち、出火率については全国ワースト2位と大変厳しい状況となっています。今年8月末時点では、286件の火災が発生しており、すでに16名の方が犠牲となっています。

平成16年の消防法改正を受け、青森県内では平成20年6月から全ての市町村において住宅用火災警報器を設置することが義務付けられ、既に10年以上が経過していますが、消防庁の調査結果では、令和7年6月1日時点の本県における設置率は75.2%(全国第45位)と、設置率の改善に向けた更なる取組が必要な状況です。

住宅火災による犠牲者を減らすためには、私たちの家庭から火災を発生させない心構えが何よりも重要です。そのためにも幼年消防クラブ、少年消防クラブ及び女性(婦人)防火クラブ等の民間防火組織が一丸となって、それぞれの地域において積極的な防火活動を展開し、防火意識を高めていくことが大切です。

また、近年、地震や豪雨等による災害が各地で頻発しており、地域防災力の重要性が増しておりますが、女性防火クラブ等は防災に関する組織としても取組が期待されています。

この大会を契機として、住宅用火災警報器設置の一層の促進が図られるとともに、安全・安心な地域社会を目指し、防火・防災の輪がさらに広がることを祈念いたします。

青森県の火災状況(令和6年・速報値)

1 出火件数 558件(全火災)

- ①建物火災 251件(うち住宅火災 145件) ②林野火災 21件 ③車両火災 47件
④船舶火災 2件 ⑤その他 237件

2 火災による犠牲者 28人(全火災)

- ①住宅火災による犠牲者(放火自殺者を除く) 16人(全火災による犠牲者の約57%)
②住宅火災による高齢者の犠牲者(放火自殺者を除く) 11人(住宅火災による犠牲者の約69%)

3 建物火災1件当たりの損害額 約339万円

4 主な出火原因(全火災のうち多い順)

- ①たき火 70件 ②火入れ 58件 ③放火・放火の疑い 33件
④電灯電話等の配線 29件 ⑤ストーブ 25件

PROGRAM

開会の言葉	北部上北広域事務組合幼少年女性防火委員会 会長 黒澤 朋之
主催者挨拶	青森県副知事 小谷 知也
開催地挨拶	六ヶ所村長 戸田 衛
活動報告	1 泊婦人消防協力隊(六ヶ所村) 『六ヶ所村泊婦人消防協力隊の活動について』 2 筒木坂女性防火クラブ(つがる市) 『つがる市女性防火クラブの活動報告』 3 柳町ひまわり保育園幼年消防クラブ(むつ市) 『柳町ひまわり保育園幼年消防クラブの活動報告について』 4 小舟渡少年消防クラブ(階上町) 『小舟渡少年消防クラブの活動報告について』
基調講演	総務省消防庁 消防大学校 助教授 須藤 友彦 氏 演題 「災害対応におけるリーダーシップと組織力」
住宅用火災警報器等抽選会	一般社団法人青森県消防設備保守協会 会長 千葉 進
防火の宣言	北部上北広域事務組合幼少年女性防火委員会
閉会の言葉	青森県幼少年女性防火委員会 会長 相澤 孝一